

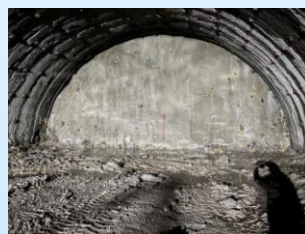
電子雷管eDev™II (イーデブ ツー)は、トンネル発破用に設計されています。

1孔1段の多段発破が可能で高い秒時精度、斉発性により振動、騒音、余堀りが低減できます。



特長

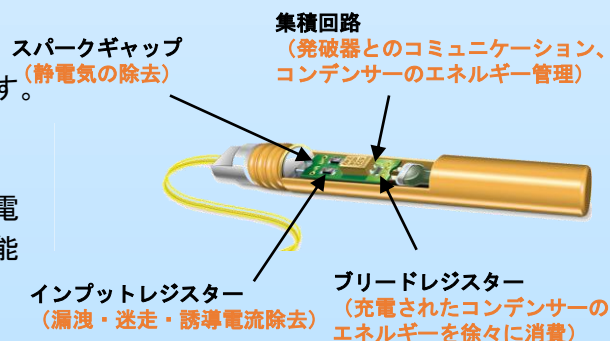
- ◆ 最大800段、設定範囲0～20秒 (20,000 ms)
- ◆ 1 ms (1000分の1秒)刻みで設定可能
- ◆ 正確な起爆秒時・・・精度: 0.01%
- ◆ 次回発破に起爆秒時をすぐ反映可能
- ◆ 雷管在庫は1種類のための管理



高い安全機構

電子雷管eDev™IIは、4つの安全機構を内蔵しています。

- ・スパークギャップは静電気を除去
- ・インプットレジスターは漏洩・迷走・誘導電流を除去
- ・集積回路は発破器からの指令のみコンデンサーに充電
- ・ブリードレジスターは交信中断時の雷管自動放電機能



優れた取扱性

雷管には固有のIDバーコードがタグに印刷されており、スキャナーにより情報を読み取ります。すべてが接続されると、テスターでの事前テスト(接続状況チェック)を行うことができます。発破前に発破器を用いて動作確認を行うことにより安全、確実な発破が実現できます。

発破システム

電子雷管eDev™IIは、以下に示す専用の発破アクセサリーと組み合わせて使用します。

システム	質量	備考
専用発破器	6.1 kg	
専用スキャナー	0.62 kg	レンタル
専用テスター ¹⁾	0.5 kg	
ハーネスワイヤー	—	特殊電線 400 m/巻

1) スキャナー260型を使用する場合には、テスターは不要です。



梱包

脚線長	個/箱	Net重量 (kg)	GROSS重量 (kg)	箱寸法 (cm)
7 m	40	2.7	6.4	42×31×21

施工の流れ

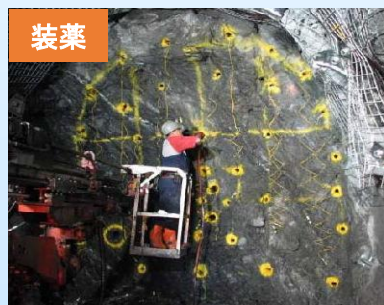
装薬

結線

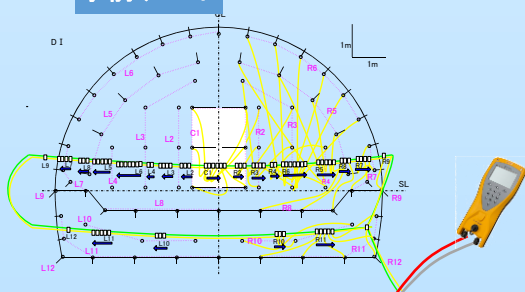
バーコード
読取り

事前テスト

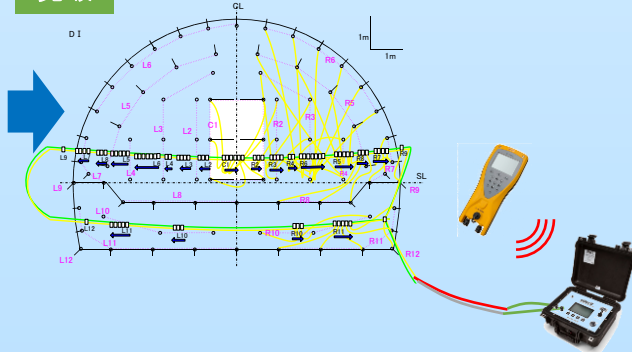
発破



事前テスト



発破



電子雷管eDev™ II 使用上の注意事項

- ・火薬類取締法の電気雷管「半導体集積回路を組み込んだ電気雷管」に該当しますので、電気雷管に定められた法令の順守をお願いします。
- ・静電気、迷走電流、無線通信による起爆に対して高い安全性を備えています。しかしながら、強い衝撃、摩擦、または熱で起爆する可能性があります。
- ・専用機器でのみテスト、プログラム、発破が可能です。
専用機器以外での操作を行わないでください。
- ・使用温度範囲は、-20℃～70℃です。
- ・貯蔵温度範囲は、-20℃～50℃です。
- ・製造後5年以内に使用してください。

免責事項

すべての権利は© 2023 Orica Group.に留保されています。文書に含まれるすべての情報は、情報提供のみを目的としており、予告なく変更されることがあります。本文書に記載されている情報を使用または信頼した結果として生じるいかなる責任も負わないことを明確にし、その責任を負いません。

製造元: Orica Limited.

販売元: 株式会社ジャペックス

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-5 TEL: 03-3506-9061

URL: <https://www.highjex.jp/> E-mail: japex-staff@highjex.jp